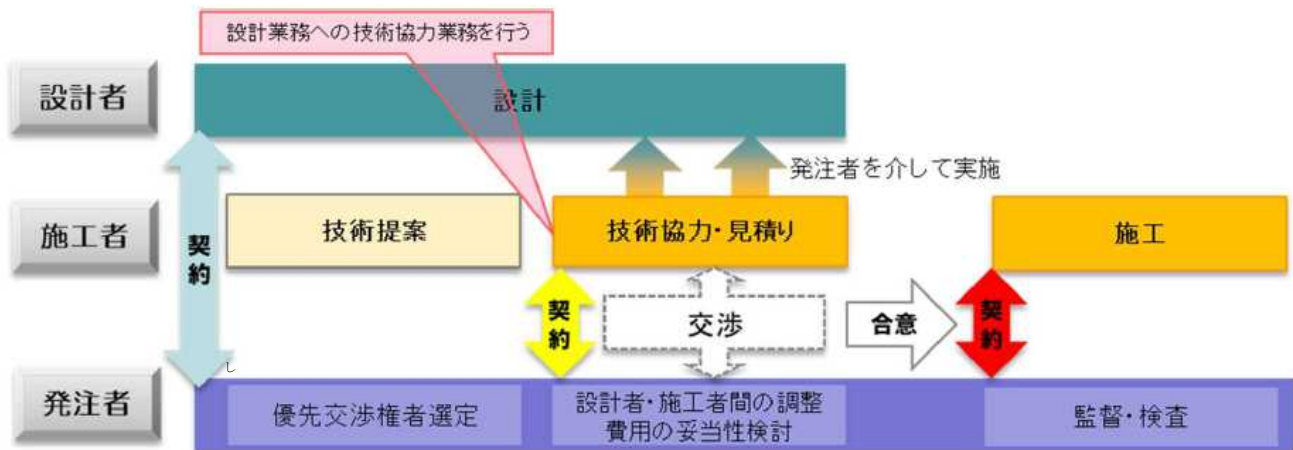




令和 3年6月7日
記者発表

技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）による 工事発注について

北陸地方整備局では、今後工事発注を予定している『妙高大橋上部撤去工事』に関して、「技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）」による発注『妙高大橋上部撤去工事にかかる技術協力業務』をいたします。



※ 技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ）とは？

- ・ 技術提案・交渉方式とは、現場条件等が特殊で当該工事の仕様の確定が困難である場合に技術提案を公募の上、その審査結果を踏まえて選定した者（以下、「優先交渉権者」）と工法、価格等の交渉を行うことにより仕様を確定して契約する方式です。
- ・ この方式のうち技術協力・施工タイプは、優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結します。
- ・ この調達方式を適用することで、最適な仕様、工法を確定した上で契約することが可能となり、工事着手後の大幅な仕様変更を抑制できる等、発注者・受注者の双方にメリットがあると考えています。

<問い合わせ先>

- ・契約方式 国土交通省 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 金子 靖雪(内線3124)
- ・工 事 国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路工事課 課長 阿部 義孝(内線4351)

新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲町合同庁舎1号館
代表:025-280-8880

<同時発表記者クラブ>

- 新潟県政記者クラブ
- 石川県政記者クラブ
- 新潟県政記者クラブ
- その他・専門紙
- 富山県政記者クラブ

技術協力業務の内容

妙高大橋は、国道18号新潟県妙高市に位置し、太田切川に架かる橋長300mの橋です。

本橋は、1972年に架設され、約50年経過しており、老朽化による損傷のため、現在新橋を建設中であります。

新橋への交通切替後現橋を撤去する予定ですが、その上部工撤去に際して、損傷状況等に応じた安全性の再検討が必要となり、また、施工時においても随時状況を確認する必要があり、状況に合わせた施工者の施工計画の検討が必要であることから、設計段階から施工者独自の高度な技術が必要です。

このことから技術協力・施工タイプを適用し、設計段階から施工者独自のノウハウや工法等の技術協力を得ながら設計を行い、工事着手後の円滑な施工をはかるものです。

◆案件名：妙高大橋上部撤去工事にかかる技術協力業務

◆内容： 工期) 契約締結の翌日から令和3年10月29日まで
内容) 橋梁撤去技術協力、打合せ

〈参考〉

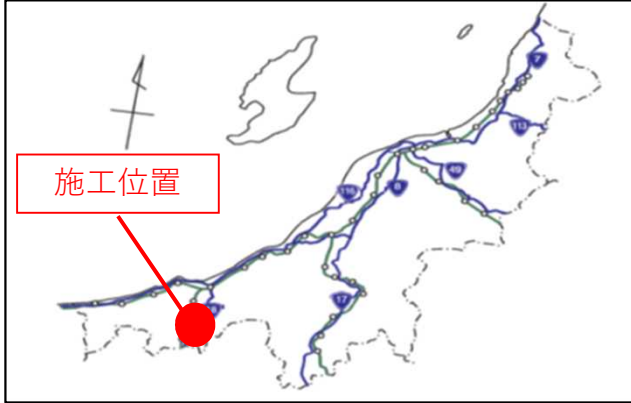
妙高大橋上部撤去工事

工事場所) 新潟県妙高市二俣～坂口新田地先

内容) PC4径間連続箱桁橋 上部工撤去 1式

妙高大橋の概要

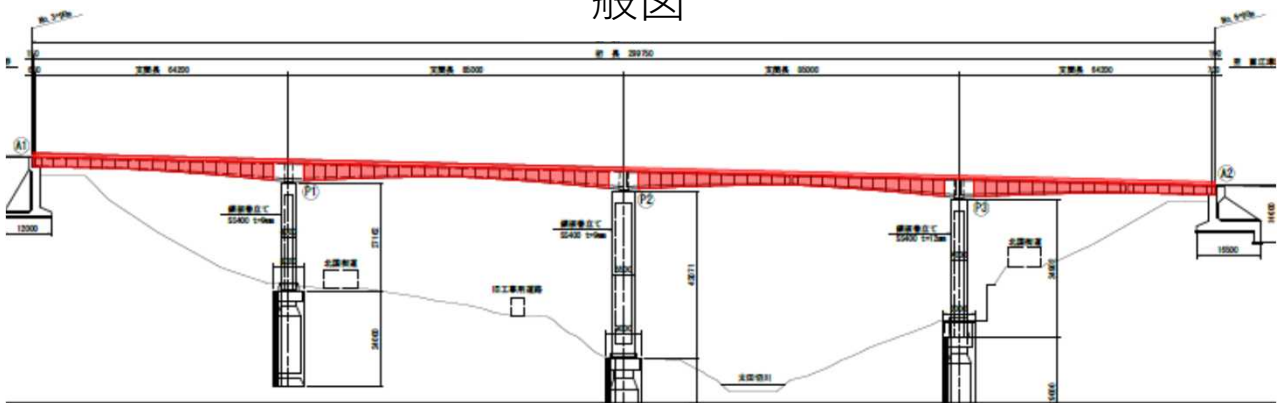
位置図



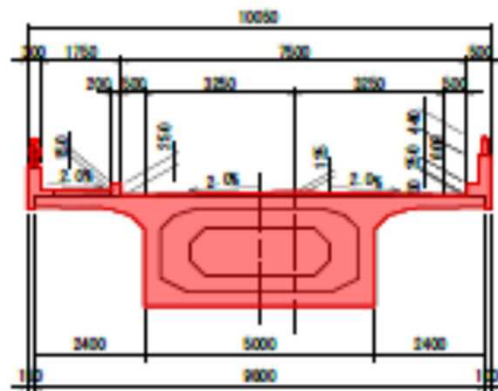
妙高大橋（現橋）



一般図



断面図



※着色部が撤去箇所